

第73回日本東洋医学会学術総会 開催概要（第3報）
テーマ：あなたの漢方 わたしの漢方 ～オンリー1とナンバー1～

【会頭】 栗山 一道（医療法人素心庵 栗山医院 院長）

【名誉会頭】 織部 和宏（医療法人 織部内科クリニック 院長）

【会期】 2023年6月16日（金）～18日（日）

【会場】 福岡国際会議場
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

【開催形式】

ハイブリッド形式（現地＋ライブ配信）

※現地参加は人数制限を行う予定です。また、新型コロナウイルス感染拡大状況を総合的に判断し、開催内容を変更する場合がございます。

最新情報は本総会のホームページにて随時ご確認ください。

オンデマンド配信

配信期間：2023年6月9日（金）～7月23日（日）

※プログラム毎に配信スケジュールが異なります。詳細については後日ご案内いたします。

【ホームページ】 <https://73jsom.com/>

【公式 Facebook】 あなたの漢方 わたしの漢方



※公式 Facebook では総会に関する様々な情報を毎日発信しています。Facebook アカウントをお持ちの方は、是非フォロー・「いいね!」をお願いします。

【後援】 公益社団法人 日本医師会、公益社団法人 福岡県医師会、
公益社団法人 日本薬剤師会、公益社団法人 日本看護協会、
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）（申請中）、
公益社団法人 全日本鍼灸学会、公益社団法人 福岡県薬剤師会、
公益社団法人 福岡県看護協会、公益社団法人 日本歯科医師会、
公益社団法人 日本鍼灸師会、公益社団法人 福岡県鍼灸マッサージ師会、
一般社団法人 福岡県歯科医師会、厚生労働省、
朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社、福岡県、福岡市（申請中）

【参加登録】

1. 事前登録期間

1次：2023年2月1日（水）10:00～2023年4月24日（月）

2次：2023年5月8日（月）10:00～2023年7月23日（日）17:00 会期終了まで

2. 参加費

区分	1次登録	2次登録
会員	13,000円	15,000円
非会員	14,000円	16,000円
学生	1,000円	1,000円

※学生は学部学生に限ります。（大学院生は含まれません）

3. 登録方法：本総会は、オンライン参加登録のみとなります。

右記のQRコードもしくは本総会ホームページの

「参加登録・宿泊予約」よりお申込みください。

お支払い方法はクレジットカード決済、銀行振込より

お選びください。

参加登録・宿泊予約ページ



※2次登録はクレジットカードによるオンライン決済のみとなりますのでご注意ください。当日の混雑の緩和および新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場では原則として現金収受による当日参加登録は行いません。

<ランチョンセミナーの事前参加申し込み>

1次登録にて現地参加でご登録いただいた方を対象に、ランチョンセミナーの事前参加申し込みを実施いたします。お申込みいただいた方へは当日、会場にて整理券をお渡しいたします。

申し込み期間：2023年3月1日（水）～4月24日（月）

お申し込み方法等の詳細は学術総会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

<講演要旨集>

日本東洋医学会会員へ5月下旬に無料で1部送付いたします。追加購入を希望される方のみお申込みください。お申込み方法は本総会ホームページでご案内いたします。

<ネームカード>

本総会はハイブリッド開催のため、ネームカードの郵送を行いません。

現地参加される際には、受付にて「現地参加用二次元バーコード」をご提示ください。

「現地参加用二次元バーコード」は参加登録後のマイページ内「各種ダウンロード」から発行可能です。発行された二次元バーコードをスクリーンショットまたは印刷しておくこと当日スムーズにお手続きできますのでお早目のご用意をお願いいたします。

【懇親会】WEB 懇親会（予定）

2023年6月17日（土）18:30～

※現地会場での開催はございません。参加方法などの詳細は後日ご案内いたします。

【宿泊のご案内】

お申込みの開始は2月中旬を予定しております。詳細につきましては、学術総会ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

＜お申込み・お問合せ先＞

西鉄旅行株式会社 福岡第一支店
〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-11 2階
TEL：092-525-2211 FAX：092-525-3937
Email：ntc_fukuoka.1@travel.nnr.co.jp
受付時間：平日 10:00～17:40 土・日・祝日 休業

参加登録・宿泊予約ページ



【専門医制度の更新点数・受験単位】

漢方専門医及び認定医の更新点数・受験単位は、以下の通りです。

- ・学術総会出席 更新点数：20点、受験単位：1単位
- ・学術総会発表 更新点数：10点、受験単位：1単位
- ・医療倫理・医療安全講習会出席 更新点数：5点、受験単位：1単位

【取得単位】

その他申請予定の単位は以下の通りです。

- ・日本医師会生涯教育制度単位
- ・日本薬剤研修センター研修認定薬剤師または漢方薬・生薬認定薬剤師研修単位

【演題登録】

一般演題、学生発表の登録期間は終了いたしました。

採択通知は、演題登録時にご入力されたE-mailアドレス宛に届きます。なお、採択演題は学術総会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

【発表形式】

一般演題、学生発表は口頭（音声付き発表動画データのオンデマンド配信形式）で発表時間は8分です。

シンポジウム等は原則、現地会場にて発表を行います。発表時間等の詳細は個別のご案内等でご確認ください。

【利益相反（COI）の開示】

第73回日本東洋医学会学術総会の演題発表に際し、本学会の「医学研究の利益相反（COI）に関する指針」の細則に従い、利益相反（COI）状態の有無にかかわらず申告が必要です。

- (1) 共同演者を含む全演者の利益相反（COI）申告書（様式1-1）の提出
- (2) 筆頭演者は、演題発表時に共同演者を含む全演者の「利益相反（COI）開示（様式3-Aまたは3-B）」の表示

利益相反に関する規定及び各種様式は、日本東洋医学会のWEBサイトに掲載しておりますのでご確認ください。

【日本東洋医学会学術総会奨励賞（神農杯）について】

本賞は第73回日本東洋医学会学術総会で発表された演題のうち、45歳未満、または漢方歴15年未満の演者のうち、特に優れた発表者を表彰し、今後の活躍を期待・奨励する賞と規定します。

本奨励賞：総会部門を受賞した者は、1年以内に日本東洋医学雑誌への投稿を期待します。

また、お申込みいただきました「学生発表」の中から学術教育委員会による厳正な審査を経て、最も優れた発表に「奨励賞：学生部門」を授与いたします。

奨励賞：総会部門・学生部門ともに、選考結果は閉会式にて発表されます。

＜緊急告知＞奨励賞（神農杯）対象演題 現地発表会のご案内

本総会の一般演題は、「音声付き発表動画データのオンデマンド配信形式」での発表として準備を行ってまいりました。これは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が先行き不透明なことをふまえ、確実にご発表いただけるよう考慮したものです。しかしながら、ここ数年のこの傾向は、研究者が座長や聴講者を前に発表する機会を著しく減少させ、血の通った議論や発展、そして何より出合いを奪っています。特に若手の研究者において、その影響は深刻だと考えております。そこで、会頭、準備委員長をはじめ準備委員会にて検討し、希望者を対象に現地会場での発表セッションを設けることとなりました。

対 象：本総会にて採択された演題のうち、「45歳未満、または漢方歴15年未満」の演者で、現地会場での発表を希望する者。

発表日時：2023年6月16日（金）午後

応募方法：採否・発表通知の際にE-mailにてご案内いたします。（2023年3月上旬頃）

応募多数の場合は準備委員会にて書類選考を実施いたします。

発表方法：口演：1演題10分（発表8分、討論2分）

PCによるデジタルプレゼンテーション

注意事項：現地会場で発表する場合も、別途オンデマンド配信用の録画データの提出は必要です。奨励賞（神農杯）受賞演題の審査は、ご提出いただいた録画データにて行います。現地発表の有無は審査に影響いたしません。

【問い合わせ先】

第73回日本東洋医学会学術総会 事務局

飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科内

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83

TEL：0948-22-3800

第73回日本東洋医学会学術総会 運営事務局

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-6-5 天神西通り館6F

TEL：092-715-0633 FAX：050-3730-8614

E-mail：contact@73jsom.com

第73回日本東洋医学会学術総会プログラム

※総会ホームページの「プログラム」より、シンポジウム等のミニサマリをご覧ください。

プログラムページ



【特別演題プログラム】※2023年1月20日時点

会頭講演 6月17日(土) 11:00-12:00 第1会場

座長：三谷 和男 (三谷ファミリークリニック/奈良県立医科大学大和漢方医学薬学センター)

演者：栗山 一道 (医療法人素心庵 栗山医院)

名誉会頭講演 6月18日(日) 11:00-12:00 第1会場

●日々の臨床における傷寒論医学の応用

座長：伊藤 隆 (医療法人社団ひのき会・証クリニック)

演者：織部 和宏 (医療法人 織部内科クリニック)

招待講演1 6月16日(金) 16:00-17:00 第1会場

●夢持ち続け日々精進

座長：田原 英一 (飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科)

演者：高田 明 (株式会社 A and Live 代表取締役/ジャパネットたかた創業者)

招待講演2 6月17日(土) 10:00-11:00 第1会場

●ギャンブル症の恐ろしさと国のザル法

座長：杵渕 彰 (青山杵渕クリニック)

演者：帚木 蓬生 (作家・精神科医 (通谷メンタルクリニック))

招待講演3 6月17日(土) 14:50-15:50 第1会場

●医療制度を取り巻く現状と課題

座長：伊藤 隆 (医療法人社団ひのき会・証クリニック)

演者：松本 吉郎 (公益社団法人日本医師会 会長)

招待講演4 6月18日(日) 10:00-11:00 第1会場

●特別対談+1 物語を生む想像力と病の関係

司会：栗山 一道 (医療法人素心庵 栗山医院)

出演者：上橋 菜穂子 (作家・文化人類学者/川村学園女子大学特任教授)

津田 篤太郎 (新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部)

招待講演5 6月18日(日) 13:20-14:20 第1会場

●新しい価値と歴史を紡ぐ ～太宰府天満宮の取り組み～

座長：木村 豪雄 (桜十字福岡病院 漢方内科)

演者：西高辻 信宏 (太宰府天満宮 宮司)

教育講演 1 6月16日(金) 14:50-15:50 第1会場

●無限に広がる小児領域の漢方治療 ～冷えに対する漢方治療を中心に～

座長：山口 英明 (K こどもクリニック／公立陶生病院 漢方外来)

演者：八木 実 (鶴岡市立荘内病院漢方内科／久留米大学名誉教授)

教育講演 2 6月16日(金) 17:00-18:00 第1会場

●医療ビッグデータを用いた漢方研究

座長：三瀧 忠道 (福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座)

演者：康永 秀生 (東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学)

教育講演 3 6月17日(土) 9:00-10:00 第1会場

●痛みと漢方

座長：山口 孝二郎 (昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門)

演者：平田 道彦 (平田ペインクリニック)

教育講演 4 6月17日(土) 14:50-15:50 第2会場

●補完・代替医療の哲学と倫理

座長：坂本 篤彦 (福岡大学医学部 総合診療科)

演者：伊勢田 哲治 (京都大学文学研究科)

教育講演 5 6月18日(日) 9:00-10:00 第1会場

●漢方と蘭方のはざままで

座長：織部 和宏 (医療法人 織部内科クリニック)

演者：青木 歳幸 (佐賀大学地域学歴史文化研究センター)

教育講演 6 6月18日(日) 14:20-15:20 第1会場

●植物とヒトのクロストーク：ヒト免疫系と生薬

座長：栗山 一道 (医療法人素心庵 栗山医院)

演者：丸山 征郎 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 システム血拴制御学講座)

学会特別企画 6月16日(金) 13:20-15:50 第2会場

■COVID-19 学会主導研究により得られた経験と今後の展開

座長：高山 真 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部 (総合診療科、漢方内科))

並木 隆雄 (千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学)

●COVID-19 に対する学会主導研究の経緯

伊藤 隆 (日本東洋医学会 会長)

●急性期症状に対する臨床研究

高山 真 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部 (総合診療科、漢方内科))

●クリニカルリサーチコーディネーターの役割

桑原 安輝子 (東北大学病院総合地域医療教育支援部・漢方内科)

●データセンターの役割（データ収集、データクリーニング、モニタリングなど）

鈴木 貴世（東北大学病院臨床試験データセンター）

●統計解析の役割（サンプルサイズ設計、統計解析とその意義など）

高木 愛理（東北大学病院臨床試験データセンター）

●発病予防効果に関する臨床研究

並木 隆雄（千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学）

●コロナ後遺症研究について

小田口 浩（北里大学東洋医学総合研究所）

シンポジウム 1

6月16日（金）16:00-18:00 第2会場

■漢方臨床研究の光と影

座長：貝沼 茂三郎（富山大学附属病院 和漢診療科）

鍋島 茂樹（福岡大学病院 総合診療部）

●漢方薬と西洋薬の臨床研究デザインは同じで良いのか？

坂本 篤彦（福岡大学医学部 総合診療科）

●心不全低栄養に対する六君子湯の有効性の検討

瀬尾 昌裕（大阪急性期・総合医療センター）

●漢方薬による臨床研究を成功させるためには

貝沼 茂三郎（富山大学附属病院 和漢診療科）

●多施設共同臨床研究について

高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部（総合診療科、漢方内科））

シンポジウム 2

6月16日（金）16:00-18:00 第3会場

■湯液 vs エキス剤 がちんこシンポジウム

座長：三谷 和男（三谷ファミリークリニック／奈良県立医科大学大和漢方医学薬学センター）

玉嶋 貞宏（玉嶋血液内科・漢方診療所）

●統・国内での薬用作物栽培の持続可能性と今後の展望

牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野）

●漢方エキス製剤と煎じ薬の品質の特徴

新井 一郎（日本薬科大学 大学院 薬学研究科）

●湯液バンザイ

村井 政史（社会医療法人貞仁会 新札幌ひばりが丘病院）

●湯液治療の立場から

森 裕紀子（北里大学東洋医学総合研究所）

シンポジウム 3

6月16日（金）16:00-18:00 第4会場

■急性期病院で生きるキャリア：これからの漢方医

座長：中永 士師明（秋田大学 救急・集中治療医学講座）

加島 雅之（熊本赤十字病院 総合内科）

●漢方医が急性期病院で経験できたこと

永田 豊（組合立諏訪中央病院）

●これからの Hospitalist/Specialist に求められる漢方医学の素養

津田 篤太郎（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部）

●重度な病気にこそ生きる東洋医学

板倉 英俊（神奈川県立がんセンター）

●超急性期で“漢方サポート”はじめました

加島 雅之（熊本赤十字病院 総合内科）

シンポジウム 4

6月17日（土）16:00-18:00 第2会場

■（漢方）薬が効いたとは何か

座長：田中 秀一（医療法人 田中医院）

坂本 篤彦（福岡大学医学部 総合診療科）

●漢方薬が効いた、とは何か～学会誌編集委員の立場から～

植田 圭吾（岡山大学学術研究院医歯薬学域 岡山県南東部(玉野)総合診療医学講座）

●「西洋薬」「漢方薬」「プラセボ」が効いた、とは何か。

坂本 篤彦（福岡大学医学部 総合診療科）

●心病める『人』と向き合う診療と治療の効果

田中 伸一郎（東京藝術大学保健管理センター）

●反実仮想と治療効果

岩田 健太郎（神戸大学大学院医学研究科 感染治療学分野）

コメンテーター：伊勢田 哲治（京都大学文学研究科）

シンポジウム 5

6月17日（土）9:00-11:00 第3会場

■転換期のがん診療へ漢方で切りこむ

座長：元雄 良治（金沢医科大学名誉教授／医療法人社団愛康会 小松ソフィア病院 腫瘍内科・漢方内科）

森根 裕二（徳島大学医歯薬学研究部 消化器・移植外科学）

●がんの標準治療を完遂するための医療用漢方エキス製剤の役割

元雄 良治（金沢医科大学名誉教授／医療法人社団愛康会 小松ソフィア病院 腫瘍内科・漢方内科）

●生薬の多成分がマルチに作用に効果を発揮する漢方薬～基礎研究から得られたエビデンスを臨床に活かす

上園 保仁（東京慈恵会医科大学疼痛制御研究講座）

●がん患者の漢方診療

有馬 俊裕（新水前寺クリニック）

●がんに対する中西医结合治療経験

清水 雅行（医療法人社団宏洋会 清水内科外科医院）

シンポジウム 6

6月17日（土）13:50-15:50 第3会場

■ブラックジャックのための新・漢方活用術 ～メスと漢方の二刀流～

座長：飯塚 徳男（山口総合健診センター）

小川 恵子（広島大学病院 総合内科・総合診療科 漢方診療センター）

●小児外科の周術期の漢方治療

小川 恵子（広島大学病院 総合内科・総合診療科 漢方診療センター）

●小児外科領域における漢方治療

甲斐 裕樹（九州医療センター 小児外科）

●五苓散を活かした周術期への東洋医学的サポート

宮本 信宏（出雲漢方クリニック／出雲漢方研究会／島根大学医学部漢方医学）

●漢方を用いた集学的外科周術期管理

八木 実（鶴岡市立荘内病院漢方内科／久留米大学名誉教授）

シンポジウム 7

6月17日（土）16:00-18:00 第3会場

■小児心身クライシスに漢方の恩恵を

座長：上田 晃三（松山赤十字病院）

山口 英明（K こどもクリニック／公立陶生病院 漢方外来）

●小児のこころに対する漢方治療の歴史的変遷

山口 英明（K こどもクリニック／公立陶生病院 漢方外来）

●子どもの神経発達症における漢方治療

原田 剛志（パークサイドこころの発達クリニック）

●神経発達症の中核、自閉スペクトラム症 ASD の漢方治療 小児神経科医の立場から

川嶋 浩一郎（つちうら東口クリニック）

●朝起きが苦手なフクロウ型体質と漢方治療

恵紙 英昭（久留米大学医療センター 先進漢方治療センター）

シンポジウム 8

6月17日（土）9:00-11:00 第4会場

■生々流転、進化し続ける中医学のダイナミズム

座長：三宅 和久（三宅漢方医院）

梁 哲成（やんハーブクリニック）

●現代中医学と現代漢方の構造と体系

梁 哲成（やんハーブクリニック）

●五臓の層構造から診る臨床の実際～症例・症候・病態・漢方薬のとらえ方～

仙頭 正四郎（仙頭クリニック）

●肝気虚の理法方薬

篠原 明德（明德漢方内科）

●COVID-19 への格闘—変異株に対応も変化—

加島 雅之（熊本赤十字病院 総合内科）

シンポジウム 9

6月17日（土）13:50-15:50 第4会場

■整形外科診療のパラダイムシフトを目指す！ ～こんなときは漢方でしょ～

座長：山川 聖史（東京都立墨東病院）

宮西 圭太（みやにし整形外科リウマチ科）

●子供から高齢者まで～スポーツ障害と漢方

富澤 英明（東京蒲田病院 整形外科）

●早期社会復帰を目指した整形外科領域漢方活用例

普天間 朝拓（沖縄県立中部病院）

●**整形外科診療における積極的漢方療法**

宮西 圭太（みやにし整形外科リウマチ科）

●**よくみる整形外科疾患に有効な漢方処方**

福島 裕造（福島整形外科医院）

シンポジウム 10

6月17日（土）16:00-18:00 第4会場

■**日本東洋医学会、日本漢方医学教育協議会ジョイントプログラム**

モデル・コア・カリキュラム時代の漢方医学卒前教育

座長：佐藤 寿一（名古屋大学医学部附属病院 総合診療科）

高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部（総合診療科、漢方内科））

●**漢方医学卒前教育の標準化に向けた取り組み**

佐藤 寿一（名古屋大学医学部附属病院 総合診療科）

●**漢方医学卒前教育のモデルスライドの紹介**

高山 真（東北大学病院 総合地域医療教育支援部（総合診療科、漢方内科））

●**漢方医学卒前教育の現状報告**

網谷 真理恵（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科地域医療学分野）

●**漢方医学教育のアクティブラーニング**

佐藤 浩子（群馬大学大学院医学系研究科総合医療学）

●**漢方医学教育の評価**

飯塚 徳男（山口総合健診センター）

シンポジウム 11

6月17日（土）9:00-11:00 第5会場

■**医療現場のツボを探せ**

座長：吉永 亮（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

成田 響太（真央クリニック附属鍼灸室）

●**医師からみたプライマリ・ケアと鍼灸**

寺澤 佳洋（口之津病院 内科・総合診療科）

●**産業保健活動と鍼灸**

沢崎 健太（常葉大学 健康プロデュース学部 健康鍼灸学科）

●**経穴刺激理学療法を用いた臨床応用—リハビリの観点から—**

東藤 真理奈（関西医療大学大学院）

●**緩和ケアと鍼灸**

小内 愛（埼玉医科大学 東洋医学科）

●**入院医療に頂門の一針 ～急性期入院医療と鍼灸～**

三谷 直哉（熊本赤十字病院 総合内科）

●**大学病院と鍼灸**

鈴木 雅雄（福島県立医科大学会津医療センター附属研究所 漢方医学研究室 漢方外科・鍼灸部）

■あなたの知らない漢方パラレルワールド ～漢方研究会レポート 第1幕～

座長：杉山 隆（愛媛大学医学部産科婦人科学）

来村 昌紀（らいむらクリニック）

◇産婦人科漢方研究会

●女性のための漢方を究めるために ～産婦人科漢方研究会の過去・現在・未来～

高松 潔（東京歯科大学 市川総合病院 産婦人科）

◇泌尿器科漢方研究会

●泌尿器科漢方研究会

武井 実根雄（原三信病院）

◇日本耳鼻咽喉科漢方研究会

●耳鼻咽喉科漢方研究会から

吉崎 智一（金沢大学 医学系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

◇日本脳神経外科漢方医学会

●日本脳神経外科漢方医学会について

松村 明（茨城県立医療大学／日本脳神経外科漢方医学会）

■総合診療 ～漢方で限界を超えていけ！～

座長：吉永 亮（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

三谷 和男（三谷ファミリークリニック／奈良県立医科大学大和漢方医学薬学センター）

●在宅医療で知っている则便利な漢方薬

土倉 潤一郎（土倉内科循環器クリニック）

●地域診療における漢方治療

齊藤 奈津美（東北大学病院総合地域医療教育支援部・漢方内科）

●大学病院総合診療科と漢方

守屋 純二（金沢医科大学 総合内科学）

●大学病院総合診療科から紹介された入院症例

吉永 亮（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

■COVID-19 もう一つの素顔 ～コロナはどこから来てどこへ行くのか～

座長：坂本 篤彦（福岡大学医学部 総合診療科）

黒木 春郎（医療法人社団 嗣業の会 外房こどもクリニック）

●コロナ追跡 —『傷寒論』と『和剂局方』—

安井 廣迪（安井医院）

●SARS-CoV-2 感染症と mRNA ワクチンが我々にもたらしたもの

—免疫学的視点から見た COVID-19 mRNA ワクチンの明暗—

廣松 賢治（福岡大学医学部 微生物免疫学）

●サイボーグウイルスによるパンデミックに対しても対処可能な漢方薬の底知れぬ実力

井齋 偉矢（医療法人徳洲会 日高徳州会病院）

●COVID-19の感染症学的側面と歴史的側面

鍋島 茂樹（福岡大学病院 総合診療部）

シンポジウム 15

6月17日（土）13:50-15:50 第6会場

■養生法の実践 ～生き方を見つめ、自身へのいたわりを施し、健康で幸せになるための叡智～

座長：吉富 誠（栲原町立国民健康保険 栲原病院）

鶴 博生（鶴内科医院）

●操体法の息・食・動・想から見た養生法

鶴 博生（鶴内科医院）

●冷えと水毒を防ぐ食養生法

江島 俊哉（大里薬局）

●和漢食について

矢野 博美（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●「養生」行動変容が己の生を養う

中田 英之（泉州統合クリニック）

シンポジウム 16

6月17日（土）16:00-18:00 第6会場

■君の虎の穴は何処だ？ ～全国漢方医養成プログラム～

座長：藤野 昭宏（産業医科大学医学部 医学概論教室）

井上 博喜（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●東北大学病院での漢方研修

小野 理恵（東北大学病院総合地域医療教育支援部・漢方内科）

●富山大学附属病院 和漢診療科での漢方研修

向野 晃弘（富山大学附属病院 和漢診療科）

●東京女子医科大学附属東洋医学研究所での漢方専攻医研修

宮川 亨平（東京女子医科大学附属東洋医学研究所）

●中医弁証での漢方と鍼灸を組み合わせた東洋医学研修について（東邦大学での東洋医学研修）

増田 卓也（社会福祉法人 三井記念病院 総合内科）

●名古屋大学での漢方研修

内藤 顕人（名古屋大学医学部附属病院 総合診療科）

●広島大学での漢方研修

河原 章浩（広島大学大学病院 総合内科・総合診療科）

●兵庫県立尼崎総合医療センターでの漢方研修

田中 裕（兵庫県立尼崎総合医療センター）

●飯塚病院での漢方研修

牧 俊允（まき内科）

シンポジウム 17

6月18日（日）13:20-15:20 第2会場

■そこに流派の壁はあるのか？ ～倦怠感を例に～

座長：田原 英一（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

中島 正光（広島国際大学 薬学部生薬漢方診療学／広島大学病院漢方診療センター）

●倦怠感は虚実を判断し、可能なら気剤で対処する

星野 卓之（北里大学東洋医学総合研究所）

●倦怠感へのアプローチ

藤本 誠（富山大学学術研究部医学系和漢診療学講座）

●一貫堂医学で考える倦怠感

矢数 芳英（温知堂 矢数医院）

●日本語で語る四次元的弁証論治-疲労感をテーマとして-

西本 隆（医療法人社団 岐黄会 西本クリニック）

●山本巖医学からわかる倦怠感の病態とその治療について～特に Long-COVID を中心に～

山方 勇次（医療法人勇山会 山方内科医院）

●倦怠感の病因・病機と治法

梁 哲成（やんハーブクリニック）

シンポジウム 18

6月18日（日）9:00-11:00 第3会場

■漢方でさらに深める看護の魅力 ～教育から実践まで～

座長：四日 順子（国立大学法人富山大学附属病院）

矢野 博美（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●看護基礎教育における東洋(漢方)医学教育の必要性

清水 夏子（福岡県立大学 看護学部）

●看護基礎教育課程における漢方教育

金岡 麻希（宮崎大学医学部 看護学科 統合臨床看護科学講座）

●漢方教育における看護学生の意識変化を看護に生かそう

米澤 慶子（大手前大学 現代社会学部）

●漢方医学を学んだ看護師の看護実践のあり方

江口 優子（国立看護大学校）

●富山大学の看護と漢方

四日 順子（国立大学法人富山大学附属病院）

●九州大学病院の看護と漢方

中村 優子（九州大学病院 油症ダイオキシン研究診療センター）

シンポジウム 19

6月18日（日）13:20-15:20 第3会場

■「めまい」や「耳鳴」だけじゃない ～耳鼻咽喉科領域は漢方療法的一大フィールド～

座長：内菌 明裕（せんだい耳鼻咽喉科）

竹越 哲男（医療法人 竹越耳鼻咽喉科医院）

●小児のめまいとコロナ感染後のめまい

新谷 朋子（とも耳鼻科クリニック）

●めまいは心身不調の表現型—だから漢方が役に立つ

竹越 哲男（医療法人 竹越耳鼻咽喉科医院）

●咽喉頭異常感症に対する漢方治療

今中 政支（いまなか耳鼻咽喉科）

●五臓から咳嗽を考えてみる

小路丸 篤（勝治耳鼻咽喉科医院）

●化膿性病変に排膿散及湯－抗生剤に頼らない代替療法－

内菌 明裕（せんだい耳鼻咽喉科）

シンポジウム 20

6月18日（日）9:00-11:00 第4会場

■リハビリテーション×漢方＝回復と飛躍の捷径

座長：加藤 士郎（筑波大学附属病院総合診療科／野木病院内科）

久保田 正樹（社会福祉法人 清風会 診療所さわさき）

●リハビリテーション医療現場（患者さんおよびリハスタッフ）での漢方治療の役割

～コロナ禍での変化も含めて～

坂元 隆一（医療法人弘遠会 すずかけセントラル病院 総合診療科／リハビリテーション科）

●回復期リハビリ病棟で頻発する炎症性疾患を抑制する補中益気湯研究について

福村 直毅（社会医療法人健和会 健和会病院）

●口腔機能低下症と顎関節症に対するリハビリテーションと漢方療法

山口 孝二郎（昭和大学医学部生理学講座生体制御学部門）

●高齢者慢性心不全の内科標準治療とリハビリテーションに対する漢方薬の長期併用効果

－殊に五苓散と牛車腎気丸の併用効果－

加藤 士郎（筑波大学附属病院総合診療科／野木病院内科）

シンポジウム 21

6月18日（日）9:00-11:00 第5会場

■『傷寒論』再考 ～新興疫病に『傷寒論』は対応できるか～

座長：山岡 傳一郎（松山記念病院）

千福 貞博（センブククリニック）

●現代感染症学からみた太陽病について

鍋島 茂樹（福岡大学病院 総合診療部）

●新興感染症にどの tool を抜き出すか？傷寒論という工具箱を探る

田中 秀一（医療法人 田中医院）

●薬量から探る唐以前の『傷寒論』処方への運用

笛木 司（松花堂マツヤ薬局／東邦大学医学部東洋医学研究室／

名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野）

●傷寒論の変遷と疫病のかかわり 温病と傷寒陰毒・傷寒陽毒について

牧角 和宏（牧角内科クリニック）

シンポジウム 22

6月18日（日）13:20-15:20 第5会場

■救急で活かす漢方 ～急性疾患にこそ漢方を！～

座長：中永 士師明（秋田大学 救急・集中治療医学講座）

神應 知道（新町クリニック）

●なぜ、救急で漢方を使うのか

中永 士師明（秋田大学 救急・集中治療医学講座）

●ER・病棟で使える漢方薬

小淵 岳恒（福井大学医学部附属病院 救急部・総合診療部）

●病棟で活かす救急漢方～様々な状況に応じた工夫の実践から～

丹村 敏則（JA 愛知厚生連知多厚生病院）

●高度救命救急センターにおける東洋医学の実践と実際

熊田 恵介（岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター・医療安全管理室）

●救急総合診療医としての漢方の活用術

入江 康仁（秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

●精神科救急に活かす漢方

岡 和宏（桜十字病院（熊本））

●救急・集中治療領域で活かす鍼灸治療

松本 淳（岐阜大学医学部附属病院第二内科）

シンポジウム 23

6月18日（日）9:00-11:00 第6会場

■あなたの知らない漢方パラレルワールド ～漢方研究会レポート 第2幕～

座長：恵紙 英昭（久留米大学医療センター 先進漢方治療センター）

宮西 圭太（みやにし整形外科リウマチ科）

◇日本東洋心身医学研究会

●心療内科における漢方の役割

芦原 睦（芦原内科・心療内科（中部心身医療研究所））

◇日本疼痛漢方研究会

●日本疼痛漢方研究会の歩み

齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学）

◇日本小児外科漢方研究会

●日本小児外科漢方研究会のこれまでとこれから

八木 実（鶴岡市立荘内病院漢方内科／久留米大学名誉教授）

◇日本小児東洋医学会

●日本小児東洋医学会の過去・現在・未来

竹谷 健（島根大学医学部小児科）

シンポジウム 24

6月18日（日）13:20-15:20 第7会場

■悩める泌尿器科症状と漢方の挑戦

座長：黒川 慎一郎（久留米大学医療センター 先進漢方治療センター）

大岡 均至（独立行政法人 国立病院機構 神戸医療センター 泌尿器科）

●緒言：泌尿器科疾患の多様性と漢方薬の位置づけ

黒川 慎一郎（久留米大学医療センター 先進漢方治療センター）

●前立腺癌内分泌療法フレイル症例に対する漢方

大岡 均至（独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター 泌尿器科）

●間質性膀胱炎、夜間頻尿と漢方

武井 実根雄（原三信病院）

- 頻尿・尿モレ・膀胱炎・陰部痛・性交痛で悩む女性と漢方
関口 由紀（女性医療クリニック LUNA ネクストステージ）

伝統医学臨床セミナー

6月16日（金）12:40～14:40 第1会場

■身近な漢方偉人伝

座長：柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所 和漢医薬教育研修センター）
木村 容子（東京女子医科大学附属東洋医学研究所）

●山田光胤先生からの伝承一口訣と腹診一

織部 和宏（医療法人 織部内科クリニック）

●矢数圭堂の臨床 ～ 温知堂矢数医院の頻用処方・つくりおき処方について ～

矢数 芳英（温知堂矢数医院）

●原敬二郎先生について

牧角 和宏（牧角内科クリニック）

●高山宏世先生について

益田 龍彦（益田クリニック）

漢方入門セミナー

オンデマンド配信

●湯液編 1：漢方の基本

田原 英一（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 2：漢方の診察法

田原 英一（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 3：漢方診断学

吉永 亮（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 4：風邪の漢方治療

中尾 桂子（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 5：咳

原田 直之（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 6：消化器症状

矢野 博美（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 7：浮腫

原田 直之（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 8：ストレス

井上 博喜（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 9：婦人科

矢野 博美（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 10：頭痛・肩こり

吉永 亮（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 11：腰痛・関節痛

中尾 桂子（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 12：皮膚

井上 博喜（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 13：倦怠感

吉永 亮（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 14：高齢者

井上 博喜（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●湯液編 15：処方のアプローチ

田原 英一（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●鍼灸編 1：鍼灸の歴史

鈴木 雅雄（福島県立医科大学 会津医療センター 附属研究所 漢方医学研究室）

●鍼灸編 2：鍼灸のメカニズムとエビデンス

鈴木 雅雄（福島県立医科大学 会津医療センター 附属研究所 漢方医学研究室）

●鍼灸編 3：鍼灸の臨床

鈴木 雅雄（福島県立医科大学 会津医療センター 附属研究所 漢方医学研究室）

漢方薬剤師セミナー

6月18日（日）15:00～17:00 第4会場

座長：中尾 桂子（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

原田 直之（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●漢方エキス剤の組み合わせ処方について

原田 直之（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

●漢方処方薬局での業務について

大内 僚子（アイン薬局 飯塚店）

●薬剤師が知っておくべき漢方剤形論

久保 陽平（有限会社 のぞみ薬局）

●漢方薬の副作用について

地野 充時（千葉中央メディカルセンター和漢診療科／城西国際大学薬学部医療薬学科和漢医薬学研究室）

特別企画 1

6月17日（土）16:00-17:00 第1会場

■あなたの漢方ベストテン

進行：田原 英一（飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科）

コメンテーター：谷川 聖明（谷川醫院）

特別企画 2

6月18日（日）13:20-14:50 第4会場

■明快回答！今さら聞けない生薬・漢方薬の疑問

コメンテーター：牧野 利明（名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野）

久保山 慎一（はちまん薬局）

【本部委員会企画プログラム】※2023年1月20日時点

編集委員会

6月18日(日) 9:00-10:00 第7会場

■論文投稿に関する情報共有

座長：貝沼 茂三郎(富山大学附属病院和漢診療科)

演者：高山 真(東北大学病院 総合地域医療教育支援部(総合診療科、漢方内科))

健康保険担当委員会・政策提言委員会合同シンポジウム

6月17日(土) 9:00-11:00 第7会場

■健康保険における漢方診療を守るために

座長：金倉 洋一(かなくらレディスクリニック)

玉嶋 貞宏(玉嶋血液内科・漢方診療所)

演者：秋野 公造(公明党 参議院議員)

長島 公之(公益社団法人 日本医師会)

増田 美加(NPO 法人みんなの漢方®)

渡辺 賢治(修琴堂大塚医院)

赤瀬 朋秀(日本経済大学大学院 経営学研究科)

学術教育委員会

6月18日(日) 10:30-13:30 (※事前申込者限定)

■第4回学生「東洋医学」研究会・サークル交流プログラム

鍼灸学術委員会

オンデマンド配信

用語及び病名分類委員会・JLOM 報告会

オンデマンド配信

●ICD-11 伝統医学章の和訳とパブリック・コメント収集に関して

星野 卓之(北里大学東洋医学総合研究所)

●ICD-11 における鍼灸領域の経絡病証について

東郷 俊宏(名古屋市立大学)

●ISO/TC249 の現状

並木 隆雄(千葉大学医学部附属病院 和漢診療科)

●ISO/TC249 の現状 -生薬・TCM 製品の品質と安全性-

河野 徳昭(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター)

●鍼灸領域の活動について

形井 秀一(洞峰パーク鍼灸院)

●ISO/TC249/WG5 および TC215/JWG1 (伝統医学用語および医療情報) での活動報告

牧野 利明(名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野)

●日本の伝統医療を取り巻く国際条約・機関における議論の現状

小野 直哉(明治国際医療大学)

●Complete Kampo Medicine 発刊に向けて～漢方医学図書編纂委員会の今後の活動～

及川 哲郎（東京医科大学病院漢方医学センター）

●『漢方医学大全』発刊に至るまでの経緯とこれまでの学会教科書について

並木 隆雄（千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学）

●『漢方医学大全』発刊について

天野 陽介（日本医学柔整鍼灸専門学校）

●渉外委員会国際担当報告（委員長報告）

高村 光幸（三重大学病院漢方医学センター）

●中国に於ける COVID-19 の推移と現状

宮内 雄史（NPO 法人国際社会貢献センター参与）

●中国の中医薬政策

柳川 俊之（フリー）

■日韓学術交流シンポジウム

演者選考中

●指導医講習会

柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所和漢医薬教育研修センター）

●専攻医のための説明会

柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所和漢医薬教育研修センター）

●医療倫理・医療安全講習会

柴原 直利（富山大学和漢医薬学総合研究所和漢医薬教育研修センター）

■漢方フレイルスコアを活用した症例検討について

座長：玉嶋 貞宏（玉嶋血液内科・漢方診療所）

木村 容子（東京女子医科大学附属東洋医学研究所）

●フレイルの診断と評価-漢方フレイルスコアを含めて-

乾 明夫（鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学共同研究講座）

●Japan Frailty Scale (JFS) について

萩原 圭祐（大阪大学大学院医学系研究科先進融合医学共同研究講座）

●漢方フレイルスコアによる症例集積研究について

石田 和之（中央大学保健センター）

【関連集会プログラム】※2023年1月20日時点

スポンサードセミナー1

6月17日(土) 9:00~11:00 第2会場

■漢方エキス製剤の上手な使い方～困ったときのこの一手～

共催：クラシエ薬品株式会社

オーガナイザー：木村 容子（東京女子医科大学附属 東洋医学研究所）

シンポジスト：芝木 光（中根皮膚科医院）

矢嶋 裕香（裕香整形外科）

金 雅子（あやこレディースクリニック）

池田 和世（大阪国際がんセンター 麻酔科）

松本 紀衣（まつもと胃腸内科）

柿添 亜矢（スマイル耳鼻咽喉科・歯科クリニック）

スポンサードセミナー2

6月18日(日) 9:00~11:00 第2会場

■超高齢社会における漢方の役割 ～治未病への可能性～

共催：株式会社ツムラ

コーディネーター：三谷 和男（三谷ファミリークリニック）

●人参養栄湯は軽度認知障害および軽度アルツハイマー型認知症患者の食欲不振とフレイルを改善する
石田 康（宮崎大学）

●腸内細菌叢に作用し免疫細胞を活性化することで大腸炎の緩和に働く大建中湯
佐藤 尚子（理化学研究所）

●未病の指標としてのイントロン・リテンション（IR）と漢方薬の可能性
岡田 典弘（北里大学）

ランチョンセミナー1

6月17日(土) 12:10~13:10 第1会場

■腸内細菌と漢方 ～漢方薬が腸内細菌を変える、腸内細菌が漢方薬を変える～

共催：株式会社ツムラ

座長：柴原 直利（富山大学 和漢医薬教育センター）

●和漢薬による腸内細菌叢を介した糖代謝改善作用 ～防風通聖散の新たな作用～
藤坂 志帆（富山大学 第一内科）

●漢方薬物動態研究から見えてきた腸内細菌叢の関与
花崎 和弘（高知大学 病院長）

ランチョンセミナー2

6月17日(土) 12:10~13:10 第5会場

■漢方エキス製剤の効かせ方

共催：大杉製薬株式会社

座長：木村 和也（諫早記念病院）

演者：木村 豪雄（桜十字福岡病院）

ランチョンセミナー3

6月18日(日) 12:10~13:10 第1会場

■証を考える ～異病同治、同病異治について～

共催：小太郎漢方製薬株式会社

座長：中田 敬吾（聖光園細野診療所）

演者：織部 和宏（織部内科クリニック）

ランチョンセミナー4

6月18日(日) 12:10~13:10 第2会場

■緩和ケア領域における漢方の役割

共催：クラシエ薬品株式会社

座長：三谷 和男（三谷ファミリークリニック）

演者：福永 智栄（姫路赤十字病院 緩和ケアセンター）

日本臨床漢方医学会講習会

6月17日(土) 16:00~17:00 第7会場

■頑固な腹痛、便秘と難治性下痢について

織部 和宏（医療法人 織部内科クリニック）

市民公開講座

6月18日(日) 15:40-17:40 第2会場

■正しく知って健康に活かそう！漢方は魔法でも迷信でもない

座長：松藤 英正（医療法人八木厚生会 八木病院）

●漢方はどんな病気によく効くの？健康保険は使えるの？

益田 龍彦（益田クリニック）

●漢方医学の概念と診断法

久保田 正樹（社会福祉法人 清風会 診療所さわさき）

●漢方薬の飲み方・養生について

鶴 博生（鶴内科医院）

●漢方診療の実際～漢方外来を受診してみませんか？～

土倉 潤一郎（土倉内科循環器クリニック）

「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

6月17日(土) (※事前申込者限定)

※演題名はすべて仮題です。